

南の躍動

奄美のよさを生かした活力ある教育の充実

大島教育事務所 令和4年1月11日



【喜界町】川尻遺跡（出土品）



なぜ数学を学ぶのか ～未来を創る子供たちへ～

大島教育事務所長 松本 遵

2022年が始まりました。各学校では、子供たちが、心身ともに成長し、新たな未来へ向かうための大切な3学期が順調にスタートしていることと思います。

本年も子供たちが、なりたい自分を思い描き、それぞれの未来に向かって力強く羽ばたけるよう皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。

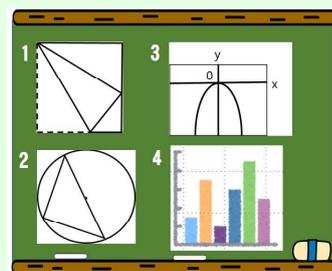
先日、あるテレビ番組で、某企業の社長が「予測不可能な時代においては、何かしらの問題に直面した際、問題の根幹を認識・分析して、自分が今もっている情報やスキルで、どう解決していくかを考える能力が必要になってくる。問題解決力は会社の全員が学び、身に付けるべき能力である。」と話をされていました。つまり、企業の持続的な成長を促すのに不可欠な能力は問題解決力であるということです。

この問題解決力は、幼い頃から日常生活の中で、大人が子供にじっくりと考える機会を与えたり、プログラミングを体験させたりすることによって、培っていくことができます。

中学・高校で数学を学ぶ理由もそこにあります。問題の解決にどんな事柄が使えるのかを見極め、それらを活用し、問題を解決することができる思考力を育てるために数学を学ぶのです。論理的に物事を考えるには、常日頃から「なぜ」「どのようにして」「本当にそうなのだろうか」と自問自答していくことが大切だと考えます。

私たちは、子供たちに、未来を創り、生き抜くための資質や能力を身に付けさせる責任を担っています。子供一人一人が、楽しく学び、新たな問題の解決に粘り強く取り組める資質や能力を身に付けることができるよう、日頃の授業改善とともに、工夫・充実した学びの機会を創っていきたいものです。

未来を創る子供たちへ・・・



奄美のよさを生かした活力ある教育の充実

大島地区の学校では、世界自然遺産に登録された「奄美大島、徳之島」の豊かな自然等を教材にした環境教育が展開されています。郷土の自然に誇りをもつ姿や、自然を保護する意義を感じる姿が見受けられ、奄美のよさを生かした活力ある教育の充実が図られています。

リュウキュウアユの保護活動  奄美市立住用小学校	外来種駆除活動  大和村立4小学校合同	アサギマダラのマーキング  龍郷町立龍郷小学校
阿室川の探索活動  宇検村立阿室小中学校	請ユリ観察会  瀬戸内町立池地小学校	クロウサギの糞の調査  徳之島町立花徳小学校

大島教育事務所ホームページ

大島教育事務所

検索

奄美の文化財等

かわじり いせき

川尻遺跡（出土品）

川尻遺跡は、島の南部にある手久津久集落に隣接する遺跡です。平成26・27年にかけて発掘調査が行われました。

遺跡の近くには湧水点があり、縄文時代（約3,000年前）の大きな土坑や、古代（約1,100年前）の貝だまりなどが見つかりました。豊富な種類の貝や魚骨も出土し、人々が豊かな海と共に暮らしていた様子を思い浮かべることができます。

喜界町埋蔵文化財センターでは川尻遺跡の企画展を3月まで開催中です。綺麗な模様を施した貝製品（写真）などの出土品も展示していますので、是非お立ち寄りください。

コアスクールプロジェクト【コアスクール・エリア推進スクール】

今年度、大島教育事務所では、本プロジェクトと事務所の学力・指導力向上に関する事業を有機的に関連付けた「大島地区学力向上プロジェクト」を実施しています。

具体的には、コアティーチャーネットワークプロジェクトで練り上げた指導案を用いてプロジェクト指定校で授業を行うなどの取組を行っています。そのことによって、ゴールを明確にした児童生徒にとって分かる・できる実感のある授業が行われ、その際に出した姿（事実）を基にして質の高い協議をすることで、参加したすべての先生方が各自の指導方法を振り返ることができています。

また、それぞれの指定校の推進教員が中心となり、研修をより質の高いものにするために児童生徒の姿を見取るワークシートを工夫したり、協議する場面を焦点化したりするなど、積極的に研修方法を改善して深まりのある授業研究が蓄積されています。

コアスクールプロジェクトの授業には、近隣の学校からの参加もあり、授業づくりや研修方法の学びが区内に広がっていることを実感しています。今後とも児童生徒の未来のために学校、市町村教育委員会、事務所一体となり共に連携しながら頑張りましょう。

奄美市立名瀬中学校



龍郷町立龍南中学校



天城町立北中学校



喜界町立喜界中学校



徳之島町立亀津中学校



知名町立知名中学校



瀬戸内町立古仁屋中学校



「令和3年度体力・運動能力調査結果」～県との比較（大島地区）～

県の平均値を50とし、◎=52以上 ○=50以上52未満 △=48以上50未満 ▲=48未満 で表しています。

種目	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン		50m走		立ち幅とび		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小2	○	△	△	△	△	△	○	△	○	△	△	△	△	△	◎	○
小4	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○	○	▲	▲	△	○	○	◎
小5	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	○	◎	◎	◎
小6	○	◎	◎	◎	○	◎	○	○	△	△	△	△	○	○	◎	◎
中1	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	△	○	○	○	◎	◎	○	◎
中2	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	△	◎	△	◎	◎	◎	◎

結果の分析(傾向)

- 全体的にみると、75%以上の種目で県平均を上回った。
- 運動習慣調査で、体育の授業を「楽しい」「やや楽しい」と答えた児童生徒は、90%を超えた。
- 種目別ではボール投げ（投力、巧み性）、反復横とび（敏捷性）、握力（筋力）、長座体前屈（柔軟性）の結果がよかった。
- 50m走（スピード・走力）、20mシャトルラン（全身持久力）に課題がある。

各学校で取り組んでほしいこと(対策)

【教科体育】

- ・ 運動の特性に応じた楽しさを味わうことができる場面を保証し、「運動やスポーツが楽しい!」「健康っていいな!」と感じる授業づくりを行う。
- ・ 運動の教科体育で行った運動が、休み時間等で日常的に行われるような手立ての工夫・充実を図る。

【教科体育以外】

- ・ 仲間と楽しく集団で協力し合いながら運動に取り組める「体力アップ!チャレンジかごしま」の効果的な活用を図る。
- ・ 一校一運動（ランニング、長縄跳び、一輪車等）や一家庭一運動（「かごしまの子ども体力向上プログラム」「これならできる!『プラス5分運動』」の活用等）の取組の推進を図る。